

災害時こそバリアフリー

2023/03/06

花見川区地域活性化支援事業 補助対象事業

花見川区バリアフリーに災害を考える会

花見川区バリアフリーに災害を考える会



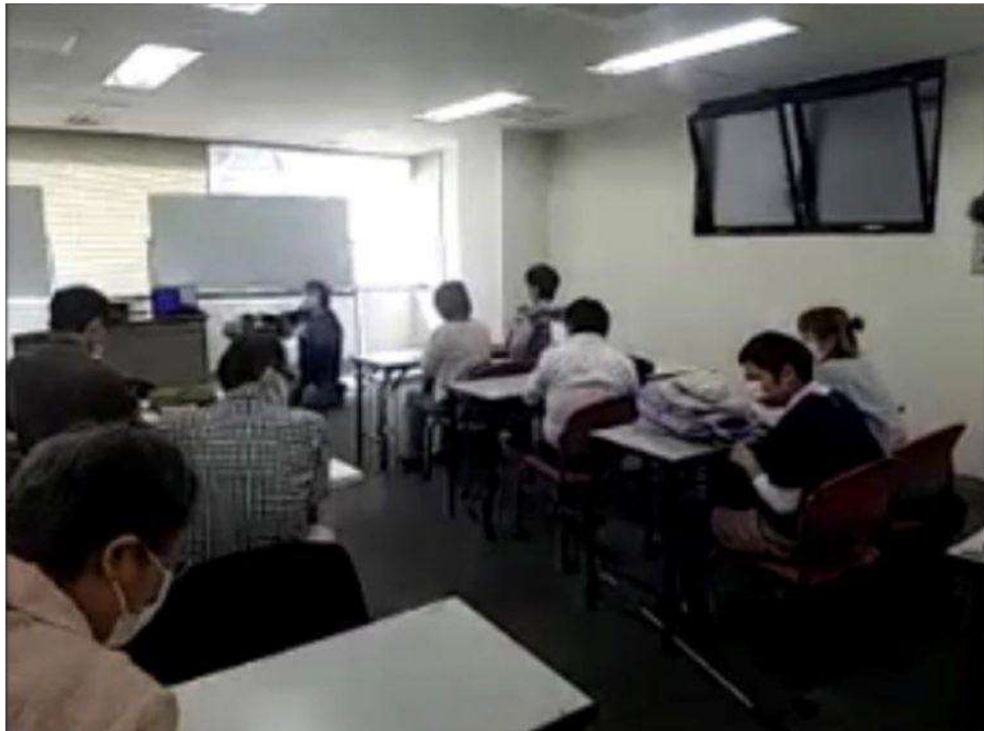
ハンディキャップの有無に関わらず、誰でも安心できる避難とは？

地域全体の安全・安心をレベルアップ！

会の活動（1）

- ▶ 1. パソコンやスマホの活用を体験する交流サロンを開催

IT講習 風景



会の活動（2）

- ▶ 2. 目の弱ってきた人の手助けをする際の参考となる情報を提供



誘導体験

会の活動（3）

- ▶ 3. SNSなど多様なコミュニケーションツールを取り入れた活動を進める

メジカラネットのFacebook



会の活動（４）

- ▶ 4. 視覚補助のボランティア入門など気軽な手助けを広める提案等を行う



小冊子制作 「目の不自由な方を手助け してみよう！ 入門編」

体験会（令和4年9月開催 メジカラサロン） 畑コミュニティセンター（1）



講演 加納基成先生

**令和元年房総半島台風
被災地支援の振り返り**

**WEBで公開されている
ハザードマップの実見
会場周辺 中心に**

体験会（令和4年9月開催 メジカラサロン） 畑コミュニティセンター（2）



**思い思いに参加者同士、
気付いたこと、経験を語り合う**

体験会（令和4年9月開催 メジカラサロン） 畑コミュニティセンター（3）



災害時便利グッズの紹介

体験会（令和4年10月開催 幕張コミュニティセンター） メジカラサロン）



避難所運営体験ゲーム HUG の実演

今後の活動予定

▶ 「我が家（私）のハザードマップ」

大人向け

小学生向け

我が家のハザードマップ

チェックシートを見ながら、白地図や地域の地図に、気になる場所や実際に見た状況を記入して、「マイ・ハザードマップ」を作ってみませんか。

災害の時にどうするべきか、家族や近所の人、職場の人など、まわりの人と話し合うヒントにしてください。

さらに、手助けが必要な人が近くにいるか、何ができるかなども考え、話し合ってみてください。

1:地図を見ながらまちを点検、安心な道をさがそう

■「安心できる場所」に「安全に」行く

ハザードマップには地震や水害などいくつかの種類がある。災害により地域がどうなるかを予め知り、備えるためのもの。地震や雨の際、いつもの坂道や土手はどうなるか、水はどこに溢れるか等が、印や色分けで示され、「注意すべき箇所」を明らかにしている。

避難時には、「どこを避けるべきか」を知り、最も近い避難所ではなく、最も安全に行ける避難所を目指そう。場合によっては、家にいた方が安心との判断も。

2:手助けできますか

■手助けが必要なのはどんな人？

老人や体の不自由な人、小さい子どもや赤ちゃんのいる人。外国人のように、言葉がわからない人、また、この町に来たばかりの人も、支援は必要。どんな人が、どのように困るか、想像力を働かせて。

今後の活動予定

- ▶ 避難所運営ゲーム実演をより多くの関係者に体験してもらう

